

# 令和3年度第1回海津市総合教育会議議事録

1 日 時 令和3年7月20日（月）午後4時から午後5時15分

2 場 所 海津市役所 東館 4階 4-2会議室

3 出席者の氏名

市長	横川 真澄
教育長	服部 公彦
教育長職務代理者	伊藤 亮一
教育委員	森 圭子
教育委員	曾根 理仁
教育委員	大津 由佳

4 調査、説明等のために出席した者の氏名

総務部長	寺村 典久
総務部参事未来創生マネージャー	柴澤 亮
総務課長	伊藤 聡
企画財政課長	近藤 康成
教育委員会事務局長	伊藤 一人
教育総務課長兼学校給食センター所長兼 学校統合推進室長	後藤 政樹
学校教育課長兼教育研究所長	後藤 秀樹
こども課長	鈴木 良彦
社会教育課長兼歴史民俗資料館長兼図書館長	
	水谷 守宏
スポーツ課長	奥村 孝司
書 記：教育総務課係長	池戸 ゆり

5 傍聴者

なし

6 議 題

- (1) 海津町地域小学校統合に関する進捗状況について
- (2) 市内小中学校のいじめと不登校の実態について

発言者	発言内容
教育総務課長 兼学校給食セ ンター所長兼 学校統合推進 室長	<p>本日は大変お忙しいところ、令和3年度第1回海津市総合教育会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>この会議は、市長と教育委員会の意思の疎通を図り、本市の教育に係る課題やあるべき姿を共有し、連携して本市の教育行政に取り組むために開催するものです。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、はじめに、市長よりごあいさつを申し上げます。</p>
横川市長	<p>皆さん、こんにちは。本日はご多用の中、令和3年度第1回海津市総合教育会議にご出席いただきまして、感謝申し上げます。</p> <p>また、日頃から委員におかれましては、本市の教育行政にご理解とご尽力を賜り重ねてお礼申し上げます。</p> <p>就任以来言い続けていることですが、海津市の人口が合併以来16年間で約7,600人が減少しております。令和2年度の1年間を調べてみますと、約600人減少しております。</p> <p>毎月、人口移動の報告をもらうようにしましたが、50人から60人の減少が続いているところです。このままの勢いで人口減少が続けば、5年後には3万人を切る状況です。</p> <p>その最大の要因は、20代、30代の若い世代の市外への転出、それに伴う少子化でございます。</p> <p>先の選挙におきまして、この人口減少に歯止めをかけるとともに、海津市に賑わいと活力を取り戻す、それが私の役目だと訴え続けてきたところです。そして実現すべき政策の第1に、子育て世代に選ばれるまちづくりを掲げまして、子育て世代の経済的負担の軽減、子育て環境の整備、こういったことをやり遂げて、子育て支援、子育て世代に対する支援の拡充を図っていくとお約束をしたところであります。</p> <p>話は変わりますが、本市の新型コロナワクチン接種につきまして、高齢者の接種から順に進めてきました。次に、接種対象を12歳以上の小中学生、高校生世代を対象に接種券を先週発送したところでございます。子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう、また、子育て世代が安心して子どもたちを学校に送り出せるように先駆けて開始したということでございます。</p> <p>これに加えて申し上げますと、小中学校の教職員、保育士、幼稚園教諭の方にも夏休み期間中に希望する方は、優先接種を行うこととしてお</p>

発言者	発言内容
	<p>ります。</p> <p>夏休み明けは、少しでも子どもたちへのコロナの影響が少なくなり、学校生活が送れるよう期待をしているところでございます。</p> <p>本日の総合教育会議の目的ですが、先ほど説明にもありましたように、市長部局と教育委員会が市の教育の課題と、目指すべき姿を共有しながら連携して教育行政を推進していく、そこでございます。</p> <p>海津市の教育がさらに特色と魅力あるものとなり、子育て世代に選ばれるまちとなりますよう、本日は活発なご協議をお願い申し上げ、私のあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。</p>
教育総務課長 兼学校給食センター所長兼 学校統合推進室長	<p>本日の出席者につきましては、資料の1ページに付けさせていただいております。この名簿をもって紹介に代えさせていただきますのでよろしくをお願いします。</p> <p>それでは、議題に移らせていただきます。これより先の進行は、市長にお願いします。</p>
横川市長	はい。一つ目、海津町地域小学校統合に関する進捗状況についての説明をお願いします。
教育総務課長 兼学校給食センター所長兼 学校統合推進室長	<資料により説明>
横川市長	ただ今、資料の説明がありましたが、これについてご意見やご質問等ありましたらお願いします。
伊藤委員	<p>8ページから9ページにかけて、【主な協議・調整事項について】いくつか記してありますが、一つ目は、安全に通学するための体制等に関することです。保護者の方は、通学区域が拡大されることによって、おそらくスクールバスで通うことになると思っはみえると思うのですが、どの程度の所まで迎えに来てもらえるのか、近くまで来てくれると助かるといった声があると思います。出来るだけ早く、それぞれの校下に下ろしていただき、意見集約をお願いします。</p> <p>二つ目、児童の心の配慮に関することとありますが、5校が一緒になるということは、やはりいろいろな問題が起きてくると思います。心</p>

発言者	発言内容
	<p>の配慮は非常に大事なことでありますので、ぜひ、統合前に児童同士の交流などをしていただきたいと思います。</p> <p>もう1点、学校施設跡地の活用に関することですが、資料にもありますように、「学校は、地域コミュニティ及び防災拠点であることから、地域の方々の活動の場としての活用を優先・・・」とあります。早く活用方法を検討して、自治会に下ろすなどして意見集約し、進めていただきたいと思います。以上でございます。</p>
横川市長	<p>ただ今、新校舎への送迎、心のケア、跡地利用について3点ご意見いただきました。これについて、説明をお願いします。</p>
教育総務課長 兼学校給食センター所長兼 学校統合推進室長	<p>教育総務課の後藤です。まず一点目の送迎についてですが、保護者の方が一番関心ありますスクールバスにつきましては、今後、学校の先生も含め、また地域のPTAの代表の方々なり各学校において、いろいろな意見を集約し、一番効率良いスクールバスの運行につきまして努めていきたいと思っております。</p> <p>2点目の児童の心の配慮に関することにつきましては、5校が集まりますので、学校行事・交流事業に向けて事前に同じスケジュールで進めていく予定ですので、心のケアも先生を通じて行っていく予定でおります。</p>
総務部長	<p>総務部長の寺村です。跡地利用については、現時点でお話できるような状態ではございませんが、先進事例等をよく研究をしながら進めていく必要があるかと思っております。</p> <p>また、案がございましたらお伝えいただければありがたいと思います。</p>
横川市長	<p>その他ありませんか。</p>
森委員	<p>学校施設跡地の活用に関してですが、西江小学校は防災の拠点として屋上にヘリポートがあり、4階建ての建物です。特に海津町の南部の方になると、海拔ゼロメートル地帯ですので、防災の面からするととても貴重な建物ではないかと思えます。</p> <p>今後の跡地の活用については、これからの問題ではありますが、市全体を見渡したときに、どこに防災の拠点として命を救うためのものを残しておくかという大きな計画に基づいた利用を考えていただきたいと思います。教育委員会の範疇だけでなく、市長部局と同時進行で進めていかれるかわかりませんが、よろしくをお願いします。</p>

発言者	発言内容
横川市長	その他ありませんか。
大津委員	<p>伊藤委員が最初に言われましたが、保護者からの声はどのようなふうに通わせるのか、バスがどのように子どもを拾っていくのかということをしごく心配されています。コロナで今、密を避けるためだと思うのですが、バスの運行を高学年の子が先に行って、次に低学年の子が行くようなことをやっている学校がみえるそうです。親がバス停に2回往復しているようで、下に子どもがいるとしごく大変だということを知りました。ぜひ、今後は、毎日のことなので保護者の意見も聞いていただいて、進めていってほしいです。</p> <p>あと、跡地の活用についてですが、海津市も文化的な活動をしてみえる方がたくさんいるので、そういう方の交流の場に使ったりするのも一つの考えかと思います。</p>
学校教育課長 兼教育研究所 長	<p>学校教育課の後藤です。通学に関してのことですが、やはり非常に関心も高く心配だという思いはよく分かります。</p> <p>安全安心な通学をしていかなければならない。これが一番のことで、通学施設部会の中で担当している者が各学校の生徒指導を担当して話し合いをしていきます。通学を考えていく上で大切なことは、子どもが家を出る時間と、子どもたちをバス停から拾って学校に着くまでの運行時間の関係です。いろいろなことを踏まえて研究していかなければならないなと思っております。</p> <p>そして、この統合になりますと、故郷が消えるというような心配になれる地域の方々が見えると思うのですが、私達が考えているのは、やはり子どもたちの故郷は小学校区であるという部分は忘れてはいけませんので、今の見守り隊の方々子どもたちを引率したり、毎日挨拶したりしていただけたらと思うのですが、地域で子どもたちを守るという動きはこれからも変わらないです。これからも見守り隊の方々にお力を貸していただかなくてはなりませんし、それらのことも含めて考えていかなければと思っております。</p> <p>また、地域の方々のご意見がありましたら教えていただければありがたいです。よろしくお願いいたします。</p>
大津委員	もう一点ですが、送迎される親さんもたくさんみえるので、住民の方に迷惑がかからないよう、高須小学校の周辺整備をお願いします。
事務局長	言われる通りです。実際は、雨が降ったり、お子さんの体調が優れな

発言者	発言内容
	<p>いときに親さんが送ってみえるのが現実だと思います。</p> <p>保護者の方も市としても安全安心を考えてスクールバスのコースを作るという前提の中で、送迎のことについても合わせて考えていただけるようにきっかけを作っていく必要があると思います。スクールバスの整備をしたとしても、そういう方は必ず見えるので、バスの乗降内あるいは送迎される方の場所については分けていくというような配慮はさせていただきます。こちらとしてお願いしたいのは、保護者に近い大津委員から保護者の方にそう言ったアナウンスもしていただけると、逆にありがたいかなと思います。よろしくお願いします。</p>
横川市長	<p>今のご意見も踏まえて、しっかりとした学校施設の整備ということが必要になってくると思いますので、またいろいろなご意見をお聞かせいただければと思います。</p> <p>他よろしいでしょうか。</p>
服部教育長	<p>私、実は4月から市のPTAの連合会の事務局をやっており、この7月に今の職に就いたのですが、PTAの方々とお話する機会が非常に多くありまして、この統合の話をPTAの方々からいろいろ聞くと、3年後の統合は、みんながどこか落としどころのあるところで納得していくだろうと、これはみんな分かっているのでもいいのだけれど、会長さんが言われるのは、今の子どもたちの心のケアは、この3年間をどういう過ごし方をするかによって変わるということです。これから統合に向かう3年間をどんなステップで向かって行くか、ここの心のケアといいますか、子どもたちがスムーズに期待感とか不安をなくして統合に向かっていけるように、統合の話を粛々と進めるのと同時に、今の子どもたちを大事にしてほしいということをおっしゃってみえたので、私も本当にその通りだと思いました。</p> <p>また、私も中心にいろんな形でこの辺りを取り組んでいきたいと思いますので、よろしくお願いします。</p>
横川市長	<p>それでは、次の議題に移ります。</p> <p>市内小中学校のいじめと不登校の実態についての説明をお願いします。</p>
学校教育課長 兼教育研究所 長	<資料により説明>

発言者	発言内容
横川市長	ただ今、資料の説明がありました。これについてご意見やご質問等ありましたらお願いします。
大津委員	<p>学校の方でも心のアンケート調査などをしていただき、先生方が早期に対応していただいているということで、学校訪問等でも聞いておりますが、アンケートに書ける子はいいのですが、書けない子たちの見守りを先生方が気になる子に声をかけるなどして、これからも対応していただきたいと思います。</p> <p>あと、不登校のことについてですが、私がまだ子どもの頃の感覚でいくと、学校に来ないということは子どもが甘えている、さぼっている、親が甘やかしている、そういった原因探しをしてきました。</p> <p>要因はそれぞれ複雑でして、理由が本当に自分の言葉で言えない子もいるということと、個性も環境もそれぞれだということがわかってきています。令和元年度には、「不登校児童生徒への支援の在り方について」という、登校する結果のみを目標とせず、社会的に自立することを目指すということが文科省から発信されました。</p> <p>市では、適応指導教室がありますが、学校に適応するというのではなく、心の健康を優先させたいということをも目的とした居場所を提供するということが、今必要になってきているのではないかと思います。適応指導教室は会議室を使って行っていますが、そうではなく心理士とかプロの方が指導して下さって、安心できる居場所を別の場所で設けて作っていただけると大変ありがたいです。</p>
横川市長	今、不登校の子どもたちの居場所作りと、家庭や本人からの相談対応の2点の充実ということでご意見をいただきました。これについて、説明をお願いします。
曾根委員	<p>小学校の訪問をさせていただいたときにお話を聞いていると、いじめの原因の一つに地域の大人たちの関係も反映する可能性を少し耳にしました。そうすると学校とPTAだけの問題ではなくて、提案したいことは、自治会長や町内会長はその地域の集落の状況をよく把握してみるので、そういった所との情報交換も校長先生方としていただけると、その背景というものが少し見えてくるのかと思います。疑問に思うことがあれば、先生方も自治会の役員に情報を求めるというのも一つの方法かと思いますが、提案させていただきたいと思います。</p>
事務局長	先ほどの適応指導教室の話につきましては、市としては、教育委員会

発言者	発言内容
	<p>ではこのことについて、子どもの居場所作りについてこれから検討していきたいと思いますが、やはりトータルで考えないといけないので、心のケアというのは、福祉関係の専門的なプロフェッショナルの意見も必要であります。場所や人員のこともあります。それは教育委員会単独で決めることはいけませんので、市全体で考えていきたいと思います。どういう活動をするかということになれば、どの程度の場所が要るかということも考えていく必要があります。なるべく子どもたちが来やすい環境になるように、市長部局の協力も必要なので、よろしくお願いします。</p>
横川市長	<p>それでは、最後のその他ということで、何かご発言がございましたらお願いします。</p>
森委員	<p>やすらぎ会館の機能移転のことですが、福祉的な役割については、今後どのようにになっていくかお尋ねします。</p>
企画財政課長	<p>企画財政課の近藤です。やすらぎ会館につきましては、先月に政策調整会議を開催しました。現在の方向性としては、子育て世代のための施設への生まれ変わりをしていこうという考えであります。その中で、子どもに特化した図書館や親子のふれあいの場の提供、屋内での遊び場の提供、当然その中に世代を超えた方の触れ合う場所も作っていかなければと思いますが、現在の老人福祉に特化した施設ではなくなるということは、ご承知おきいただきたいと思いますと考えております。</p> <p>また、生涯学習センターにつきましては、民間のこども園になる予定ですので、新たな認定こども園を受けた法人と提携しまして、子育て支援の相談業務等を行っていただけるかどうかも含めて、今後は企画財政課を中心に進めさせていただきます。そこで、ある程度方向ができましたら、主管課を中心に今後どのように発注をしていくか決めていきたいと思っております。</p> <p>現時点でお答えできることは、以上でございます。よろしく申し上げます。</p>
森委員	<p>子どもたちがすくすくと健康に育つような場を拡充していただけることは、とてもありがたいことです。期待しておりますので、よろしく申し上げます。</p>
横川市長	<p>本日は貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。事務局に進行をお返しします。</p>
教育総務課長	<p>それではこれもちまして、本日の会議を終了させていただきます。</p>

発言者	発言内容
兼学校給食センター所長兼 学校統合推進 室長	お忙しい中ご出席賜り、誠にありがとうございました。

閉会 午後5時15分